レジメン名		FOLFIRI+Bmab(ペパシス゚マプ)									
対象がん種	大腸がん	対象患者		催吐リスク	中等度						
				1コースの日数	14						
				投与予定回数	PDまで						
内服抗がん剤の有無	なし	7		投与回数上限	なし						
※有の場合薬剤名											

副作用情報(頻度が高い、特徴的な副作用など)									
項	目	頻度(%)(Grade≧3)	対処法(減量・中止など)						
血液毒性	好中球減少	53.6%							
その他	高血圧	12.5%							
	下痢	10.7%	開始前UGT1A1遺伝子多型確認検討						

」、ジャ、中窓(古井庵はた合む)

レン	ンメン内容(支持療法を含む	ì)																	
					day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1-
Rр	薬剤名	投与量	投与方法	投与速度·時間	投与時刻(必要時)														休薬完
	1 生食	50 mL	点滴静注	100 mL/h		•													
:	デキサート 2 プリンペラン 生食	9.9 mg 10 mg 100 mL	点滴静注	200 mL/h		•													
;	3 ベバシズマブ 生食	5 mg/kg 100 mL	点滴静注	初回90分 2回目60分 3回目以降30分		•													
4	4 イリノテカン 5%ブドウ糖注	150 mg/m² 250 mL	点滴静注	2時間		•													
	5 レボホリナート 5%ブドウ糖注	200 mg/m² 250 mL	点滴静注	125 mL/h		•													
(6 フルオロウラシル 5%ブドウ糖注	400 mg/m ² 50 mL	点滴静注	200 mL/h		•													
	7 生食	2400 mg/m² total 100mL	持続静注	46時間		•													

内服抗がん剤・支持療法薬

Rp	薬剤名	投与量	用法	day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
	5-HT3阻害薬(アロキシ注、	カイトリル錠など)			•													
	デカドロン錠	8mg/day	分2または分1			••	••											

滴下順

薬剤·用量

フィルター 遮光

投与速度/時間 投与時刻(必要時) 漏出時リスク

主管 投与方法 (1) 点滴静注 生食

50 mL

100 mL/h

2 点滴静注

デキサート 9.9 mg 10 mg プリンペラン 100 mL 生食 200 mL/h (3) 点滴静注

ベバシズマブ 5 mg/kg 生食 100 mL 備考欄参照

バッグ、ルートともに遮光不要

初回90分、2回目60分、3回目以降

軽度炎症性

フィルター不要

終了後生食フラッシュ

5%ブドウ糖注

4

点滴静注

イリノテカン

炎症性 バッグは遮光、ルートは遮光不要

フィルター不要 側管①と同時投与

150 mg/m²

250 mL

2時間

(5)

点滴静注 400 mg/m² フルオロウラシル 5%ブドウ糖注 50 mL 200 mL/h

バッグ、ルートともに遮光不要

炎症性

フィルター不要

6) 持続静注

フルオロウラシル 2400 mg/m² total 100mL 生食 46時間

炎症性

フィルター不要 バッグ、ルートともに遮光不要

側管

備考

投与方法

薬剤・用量

投与速度/時間 投与時刻(必要時) 漏出時リスク

フィルター 遮光 備考

1

点滴静注

200 mg/m² レボホリナート 5%ブドウ糖注 250 mL 125 mL/h

主管④と同時投与